



お知らせ

資料提出先

- ・岡山県政記者
- ・岡山市記者クラブ

平成25年9月坂根堰の運用状況について

岡山河川事務所が管理しています吉井川坂根堰は、次の3つの目的とした堰で、昭和54年度から運用をつづけています。

治 水：坂根堰のゲート进行操作して、洪水時は雨水を安全に流すとともに、必要に応じ上流から来る水に貯えた水を加えながら川の流れを維持する。

かんがい用水：坂根堰のゲートで水をせき止め、岡山市東区、備前市及び瀬戸内市の農地へかんがい用水を供給する。

都市用水：坂根堰のゲートで水をせき止め、岡山市及び瀬戸内市、備前市に生活用水を供給する。

坂根堰では、大雨が降れば、2門の洪水調整ゲート、5門の主ゲートを使って下流に急激な水位変動を生じないように、堰上流の水位を徐々に下げながら安全に水を流す管理(ゲート操作)を行っています。主に9月は、かんがい期と台風期が重なるため、水を貯めながら、慎重にゲート操作し、洪水の水を安全に流下させました。その運用状況を報告します。



9月4日 坂根堰全開時

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

TEL (0869) 66-7631 (坂根分室)

FAX (0869) 66-7633

URL <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

【担当】

副所長(技術) 川島 明 昌 (内線205)

管理第二課長 小島 久 邦 (内線6921)

平成25年9月坂根堰の運用状況について

●平成25年9月1日～6日出水

至近5ヶ年で、最大の流入量を記録しました。

9月初め、西日本に停滞する前線に南から暖かく湿った空気が入り込み、岡山県北で強い雨が降り、9月1日18時50分に坂根堰は洪水警戒体制を執りました。その後雨が小降りになり、堰へ流れ込む水量が減りましたが、3日夕方から4日の明け方にかけて激しい雨が降りました。

1日から降り続いた雨により流入量が非常に大きくなったので、4日12時20分からゲートを全開にする操作を行い、12時30分に全開になりました。14時20分頃に最大流入量4,630m³/sを記録しました。

その後、次第に流入が減ったため、ゲートが全開になった翌日の5日6時40分から貯め始め、ゆっくり1日をかけて堰より上流の水位を約2m上昇させました。



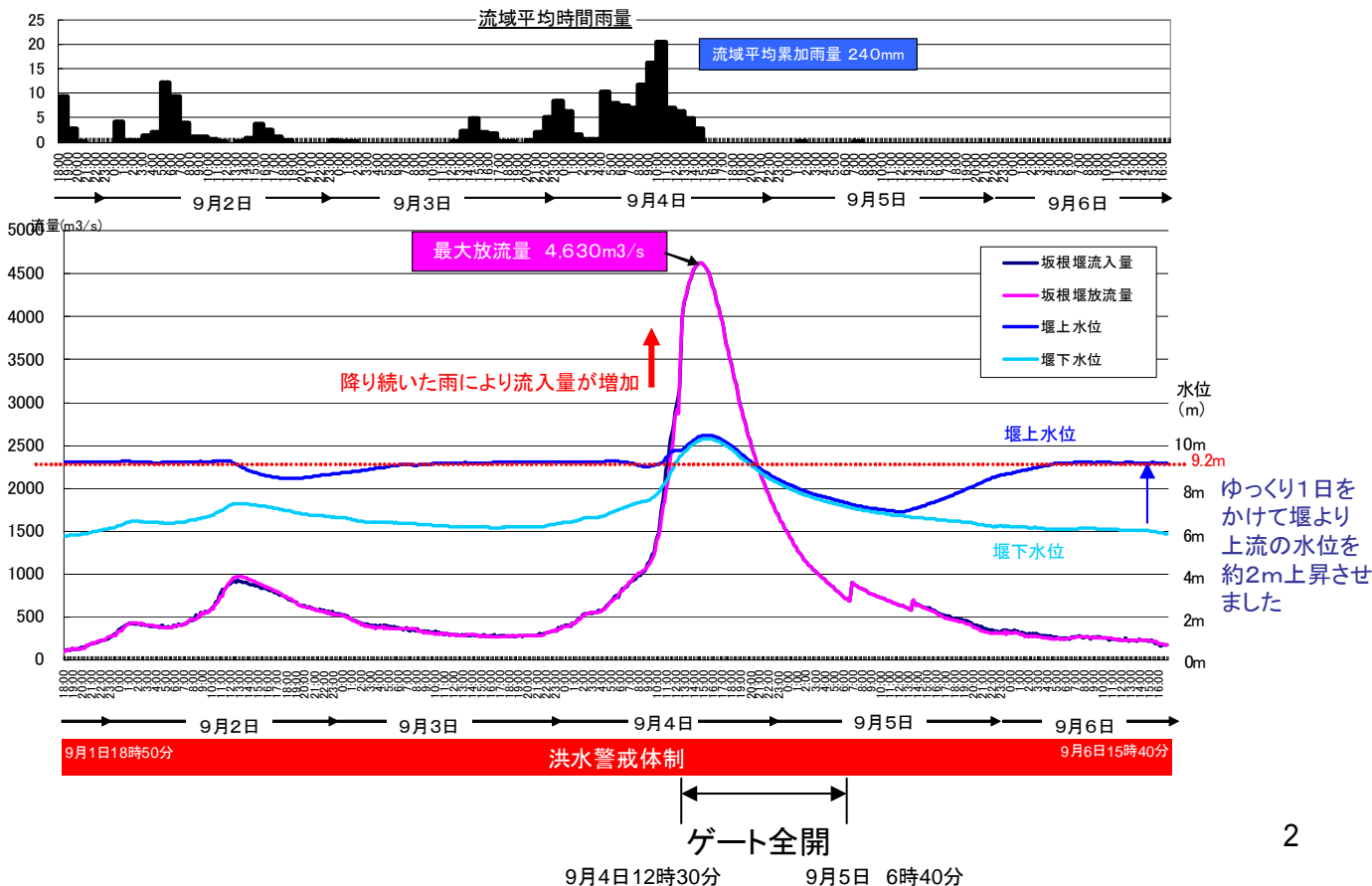
左岸



平常時の坂根堰

9月4日13:00時点 ゲート全開 堰流入量 約4,260m³/s

☆9月1日～6日までの出水状況



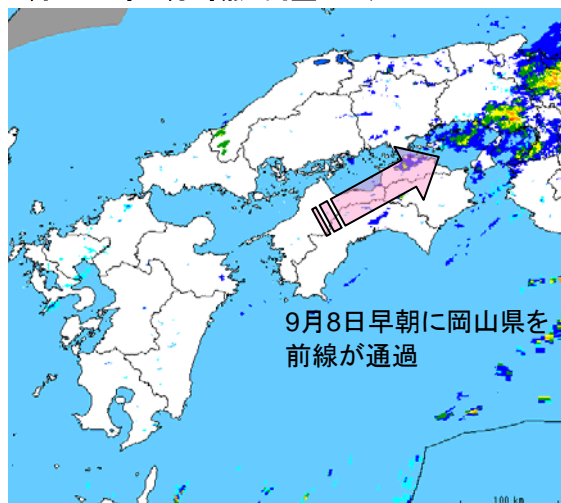
●平成25年9月8日出水 前回出水の影響でゲート操作をしました。

8日早朝に岡山県を前線が通過しました。雨自体は流域平均累加雨量で約20mmと、特別激しい雨ではありませんでしたが、前回(4日)出水の影響により、流入量が約130m³/sと昨年9月の平均流入量に比べ約3倍という状況のため、8日8時10分に坂根堰は洪水警戒体制を執りました。

この時点で、すでに前線も通過し、お昼頃には晴れ間もみえました。その後堰へ流れ込む水量が減り17時20分に体制を解除しました。

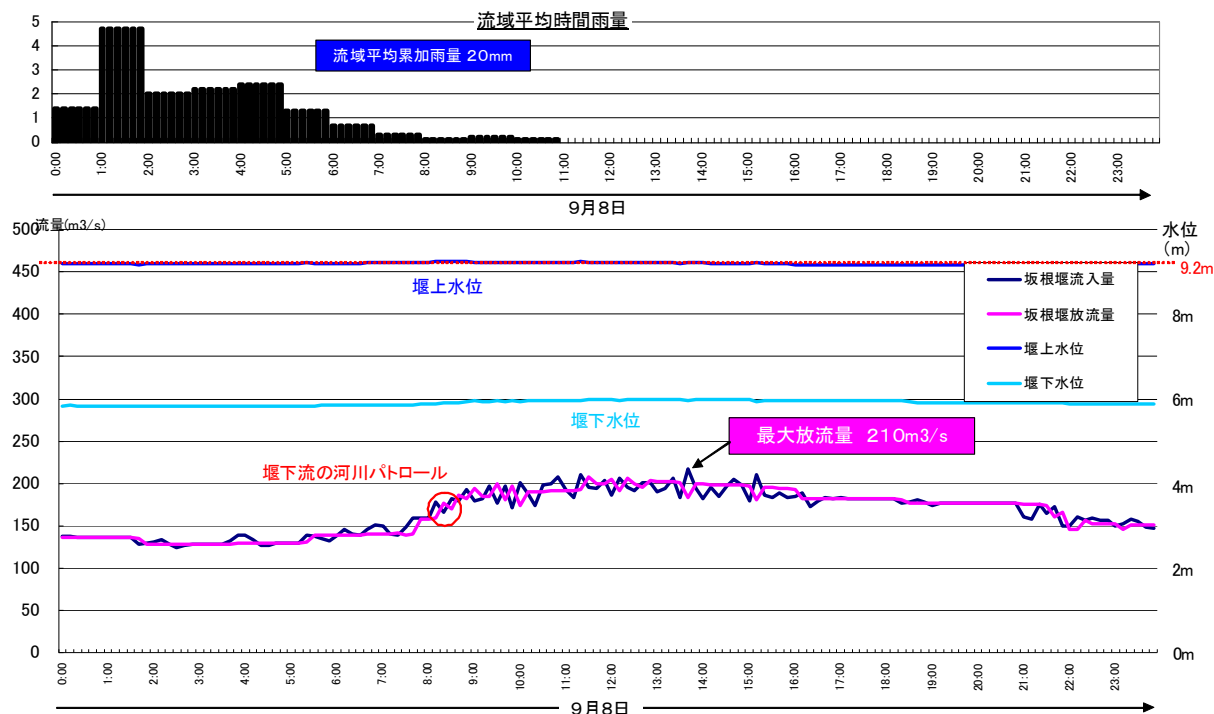
このように、その時の雨が弱くても、川の水位が上昇することがあります。川で遊ぶ際には、サイレンや放送による情報提供に注意していただくとともに、水の流れる位置が変わっていないか、周りの状況確認に心掛けてください。

9月8日8時00分時点 雨量レーダー



9月8日早朝に岡山県を前線が通過

☆9月8日の出水状況



9月8日 8時10分 洪水警戒体制 9月8日 17時20分



放流警報所のサイレン及び坂根堰パトロール車のスピーカーによる放送で情報提供いたします。

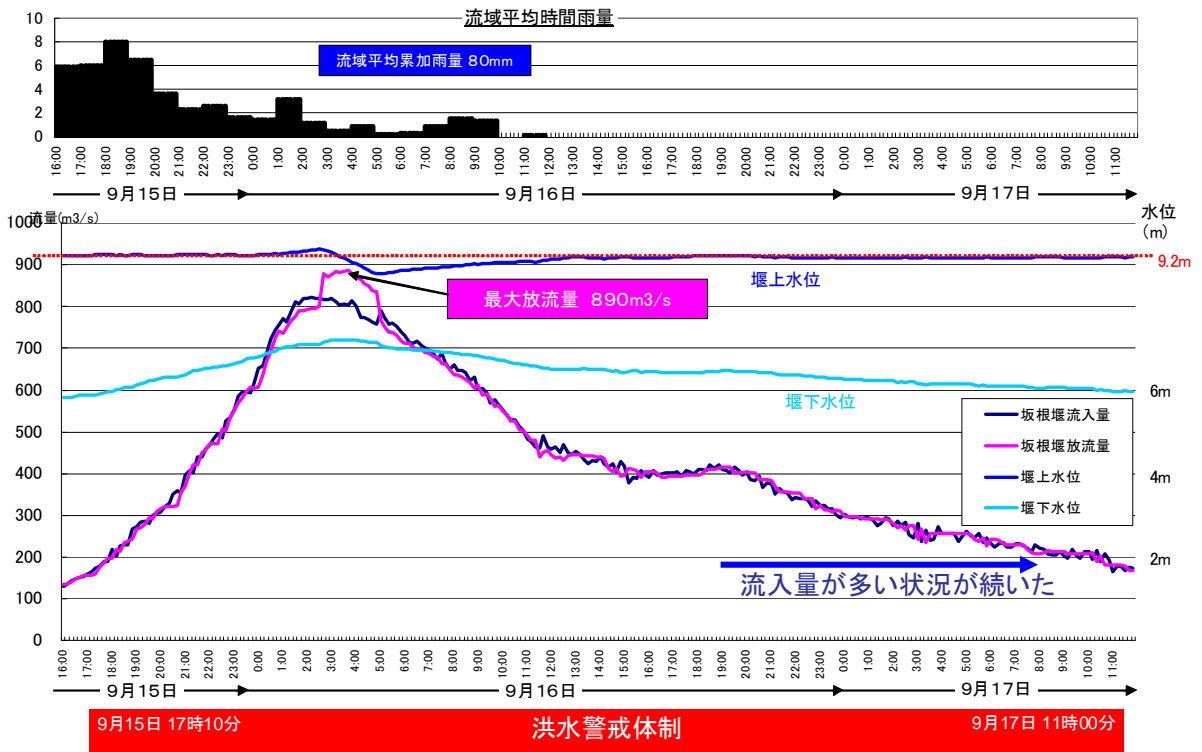
●平成25年9月15日～17日出水 台風18号による雨でゲート操作をしました。

日本の各地に被害をもたらした大型の台風18号は、岡山県内では15日1時頃から降り始め、堰への流量は次第に増え、15日17時10分に洪水警戒体制を執りました。

その後も流入量が増え続け、坂根堰より上流の水位が上昇したため、今度は上流地区の浸水被害を防ぐ目的でゲート操作を行い、水位を下げる操作を行いました。この場合でも、堰より下流の水位変動が大きくならないよう、慎重にゲート操作を行っています。

また、今回の出水では苦田ダムが防災操作を行ったため、急激な流入量の増加や、高水敷に水が浸かるような流量になりませんでした。しかし、流入量が多い状況が続いたため、17日11時まで洪水警戒体制を維持しました。

☆9月15日～17日の出水状況



強風にあおられ、溜めた水が堰を越える状況(9月16日10時00分時点)

台風が通過した16日には、坂根堰で風速20m/sを越える風が吹き、堰を波が越える状況になりました。このように風が強い場合、堰を越えて水が流れる場合がありますが、全体の放流量に比べると僅かです。